



平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月10日

上場会社名 株式会社 インタースペース

コード番号 2122 URL <http://www.interspace.ne.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 河端伸一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 岩淵桂太

TEL 03-6821-0711

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	4,532	19.8	207	151.7	210	152.8	334	—
22年9月期第2四半期	3,782	△1.1	82	△29.5	83	△29.5	24	440.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	10,302.13	10,078.02
22年9月期第2四半期	745.64	728.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	3,498	1,995	56.7	61,014.55
22年9月期	3,020	1,649	54.6	50,778.04

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 1,985百万円 22年9月期 1,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年9月期	—	0.00	—	—	—
23年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,060	16.1	390	86.2	390	80.3	437	571.5	13,434.02

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年9月期2Q	33,456株	22年9月期	33,402株
② 期末自己株式数	23年9月期2Q	920株	22年9月期	920株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年9月期2Q	32,503株	22年9月期2Q	32,363株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、個人消費に持ち直しの動きがみられる一方で、雇用・所得環境は引き続き厳しい状況であり、また平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響が懸念され、企業を取り巻く環境は先行きが見通せない状況にあります。

このような経済状況の中、当社グループが事業展開を行うインターネット広告市場は着実に回復に向かい、ソーシャルメディアやスマートフォン向けのサービス拡充が成長の後押しをしています。

こうした事業環境のもと、当社グループはアフィリエイト運営、メディア運営両事業において、市場環境の変化に伴う新サービスの提供や、ソーシャルアプリのリリース等の販売拡充に注力をいたしました。

また、ソーシャルアプリ事業を成長させる事を目的として、株式会社more gamesの株式を取得し連結子会社化いたしました。

一方、メディア運営事業の注力ジャンルへ経営資源を集中させることを目的として、連結子会社である株式会社ガールズオークションの全株式を株式会社Stardust Communicationsに譲渡いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,532,153千円（前年同四半期比19.8%増加）、営業利益は207,304千円（前年同四半期比151.7%増加）、経常利益は210,156千円（前年同四半期比152.8%増加）、四半期純利益は334,852千円（前年同四半期比1,287.7%増加）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、477,610千円増加し3,498,266千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が170,165千円、現金及び預金が58,695千円、株式会社more gamesの株式取得よりのれんが43,053千円増加したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結累計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ、131,798千円増加し1,503,081千円となりました。これは主に、買掛金が220,088千円増加した一方、法人税の納付等により未払法人税等が91,570千円減少したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ、345,812千円増加し1,995,184千円となりました。これは主に、利益剰余金が334,852千円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年5月6日付「平成23年9月期第2四半期累計期間の業績予想の修正並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示させていただいたとおり、平成22年11月9日に公表した平成23年9月期通期連結業績予想を修正しております。

具体的には当第2四半期累計期間（平成22年10月1日～平成23年3月31日）において、スマートフォンやソーシャルメディアなどの新サービスの販売に注力した結果、売上高・営業利益ともに当初の想定を上回りました。

また平成23年2月14日付「株式会社ガールズオークションの株式譲渡に関する基本合意書締結のお知らせ」及び平成23年3月1日付「子会社株式の譲渡価額の決定のお知らせ」にて開示いたしました株式会社ガールズオークションの株式譲渡に伴う税効果の影響により、当期純利益が増加しております。

以上の結果、平成23年9月期通期の売上高は9,060,062千円、営業利益390,649千円、経常利益390,360千円、当期純利益437,089千円となる見込みです。

なお、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響に関しまして、現時点では大きな影響を確認していませんが、当社の業績に影響が見込まれる場合は、速やかに開示致します。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31

日)及び「資産除去債務に関する会計基準適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益が276千円、税金等調整前四半期純利益が4,694千円それぞれ減少しております。

②「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取り扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

なお、この変更が損益に与える影響はありません。

③表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,519,925	1,461,230
受取手形及び売掛金	1,114,330	944,164
その他	218,381	74,938
貸倒引当金	△12,220	△10,221
流動資産合計	2,840,417	2,470,111
固定資産		
有形固定資産	152,359	157,679
無形固定資産		
のれん	47,428	4,375
その他	210,563	131,284
無形固定資産合計	257,991	135,659
投資その他の資産	247,497	257,205
固定資産合計	657,848	550,543
資産合計	3,498,266	3,020,655
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,192,606	972,518
短期借入金	28,992	27,000
未払法人税等	4,172	95,743
賞与引当金	78,118	73,115
その他	110,392	111,816
流動負債合計	1,414,281	1,280,193
固定負債		
長期借入金	60,510	66,500
その他	28,290	24,590
固定負債合計	88,800	91,090
負債合計	1,503,081	1,371,283
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,355	947,410
資本剰余金	725,000	725,000
利益剰余金	411,773	76,921
自己株式	△99,959	△99,959
株主資本合計	1,985,169	1,649,372
少数株主持分	10,014	—
純資産合計	1,995,184	1,649,372
負債純資産合計	3,498,266	3,020,655

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
売上高	3,782,313	4,532,153
売上原価	2,921,055	3,522,679
売上総利益	861,257	1,009,473
販売費及び一般管理費	778,892	802,169
営業利益	82,365	207,304
営業外収益		
受取利息	241	197
持分法による投資利益	—	756
その他	1,462	2,994
営業外収益合計	1,703	3,948
営業外費用		
支払利息	940	1,096
営業外費用合計	940	1,096
経常利益	83,129	210,156
特別利益		
子会社株式売却益	—	738
貸倒引当金戻入額	886	—
ポイント引当金戻入額	1,254	—
特別利益合計	2,140	738
特別損失		
固定資産除却損	1,808	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,142
特別損失合計	1,808	4,142
税金等調整前四半期純利益	83,461	206,752
法人税、住民税及び事業税	29,036	2,345
法人税等調整額	30,293	△130,445
法人税等合計	59,330	△128,099
少数株主損益調整前四半期純利益	—	334,852
四半期純利益	24,130	334,852

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。